

2021年9月16日

各 位

株式会社福井銀行

「福井銀行グループ サステナビリティ基本方針」の策定および「TCFD」提言への賛同について

株式会社福井銀行（頭取 林 正博）は、「福井銀行グループ サステナビリティ基本方針」を策定・公表し、併せて気候変動リスクに関わるリスク・機会の開示を推奨する「TCFD（気候変動関連財務情報開示タスクフォース）※」提言への賛同を表明しましたのでお知らせいたします。

方針の策定・公表および本提言への賛同を通じ、気候変動がもたらすリスク・機会に関する情報開示の充実を図るとともに、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

また、福井銀行グループのサステナビリティに関する重要課題や取組方針等を継続的に議論し、実効性を高めていくための検討組織として「サステナビリティ委員会」を今後設置いたします。

記

1. 賛同・公表日

2021年9月16日（木）

※TCFD 提言

2015年12月、金融安定理事会（FSB）は、G20財務大臣および中央銀行総裁の意向を受け、「気候関連財務情報開示タスクフォース」（TCFD：Task Force on Climate-related Financial Disclosures）を設立。2017年6月、企業による自主的な開示を促すための提言をまとめた最終報告書を公表。提言は、金融セクターだけを対象としたものではなく、全ての企業が対象。

以 上

「福井銀行グループ サステナビリティ基本方針」

福井銀行グループは、持続可能な地域社会の実現に向け、気候変動等の環境問題など地域社会を取り巻くさまざまな課題解決に誠実かつ公正に取り組み、社会価値・経済価値・企業価値の向上を目指してまいります。

2021年9月16日

頭取 林 正博

【4つの方針】

1. 重要課題（マテリアリティ）の特定と事業活動を通じた地域社会の課題解決

地域社会および福井銀行グループにとっての持続可能な成長につながる重要課題（マテリアリティ）を特定し、地域社会の課題解決に資する商品・サービスを開発・提供します。

2. SDG s や ESG の視点を踏まえたビジネスモデルの確立

商品・サービスの提供にあたっては、SDG s や ESG の視点を踏まえたうえで、地域社会の持続可能性に資するビジネスモデルを確立します。

3. 対話や正確な情報開示による様々なステークホルダーとの信頼関係の構築

様々なステークホルダーとの対話やサステナビリティに関する情報を正確に開示し、社会からのニーズや要請に真摯に対応することで強固な信頼関係を構築します。

4. サステナビリティに対する職員への教育の実施

サステナビリティを実践するのは、職員一人ひとりであり、SDG s や地域社会の課題を「自分事」として捉えることができるよう、職員に対しサステナビリティに関する意識を醸成するための教育・啓発活動を行います。

